

お知らせ

記者発表資料 平成29年2月27日

平成28年の中海の赤潮確認状況をとりとめました ～確認日数は「減少」、確認範囲は「局所的」～

このたび、出雲河川事務所では、平成28年の赤潮確認状況をとりとめましたのでお知らせします。(別紙参照)

平成28年の確認日数は、過去5カ年では最も少なく、2月25日～3月2日、10月13日～10月19日までの期間において、中海の一部の範囲で計7日確認されています。

なお、今年初めての赤潮を平成29年2月24日に確認しています。平成29年の赤潮確認情報は、引き続き国土交通省出雲河川事務所のウェブサイトにて、随時情報を提供しておりますのでご覧下さい。

※赤潮とは、水中のプランクトンが異常増殖することで、水面が着色する現象です。

※様々な環境要因(窒素・リンの増加に伴う水域の富栄養化、海流等による水域への赤潮原因種の移入、日照、水温、塩分濃度など)が赤潮原因種にとって好適なものになるとプランクトンが大増殖を引き起こし、赤潮が発生すると考えられています。

※中海では、富栄養化現象として赤潮(プランクトンの異常増殖)が毎年確認され、時期は概ね10月から翌年5月に集中しています。

※赤潮による影響としては、大量に出現したプランクトンが死滅し、腐敗・分解されることによる水質悪化、大量に出現したプランクトンによる鰓づまり、一部の赤潮原因種が生産する毒性物質(すべての赤潮原因種が有毒ではありません)による魚介類の斃死などがあります。

※中海においては赤潮による魚介類の斃死等の影響は現在まで確認されておりません。

提供先 島根県政記者会、米子市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 出雲河川事務所 水環境課
電話 0853(20)1763(直通)

副所長 にしお まさひろ
西尾 正博

【担当】水環境課長 やまがた こういち
山形 浩一

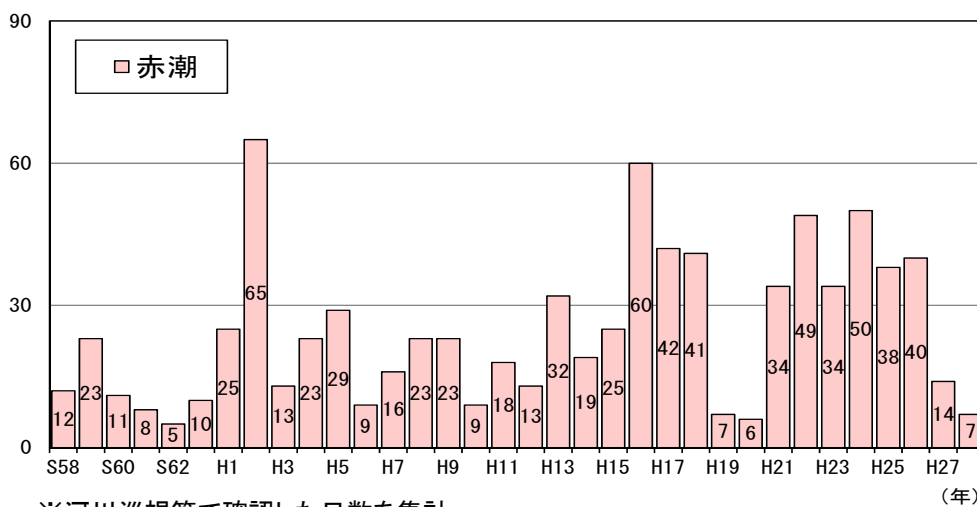
(別添)

平成28年の赤潮確認状況

- ・赤潮の確認日数は、過去5カ年では最も少なかった。
- ・赤潮の確認時期は、2月25日～3月2日、10月13日～10月19日の期間に確認された。
- ・赤潮の確認範囲は、米子湾における局所的なものであった。

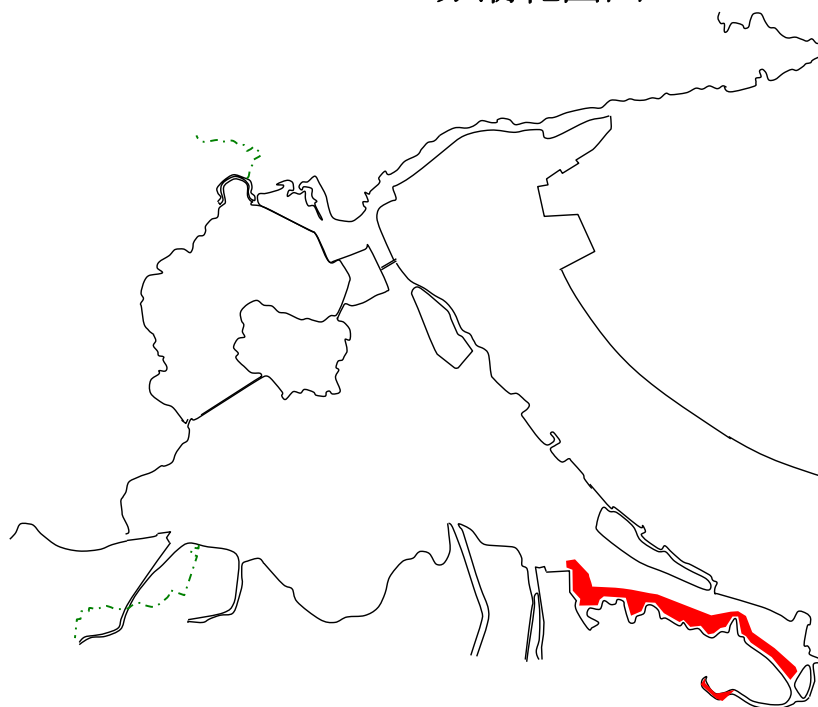
(日数)

中海の赤潮確認日数



※河川巡視等で確認した日数を集計

赤潮範囲図



赤潮状況写真



(米子湾 H28.10.13)

凡例

■ : 赤潮